

みどろ 水土里ネット広報

〒879-6115
大分県竹田市荻町馬場426番地1
荻柏原土地改良区
TEL 0974-68-2238
FAX 0974-68-2239
http://www.midorinet-o8i.com

No.48



新年を迎えて

(起承転転！国営大蘇ダム事業の早期完成を願う)

大蘇ダム

野菜の値段が高い夏にTVでは店頭で買い控える主婦の姿が繰り返し放映されていました。コメの取引が始まる収穫の時期には、これまでにない安値に農家の曇った顔が大写しにされます。口蹄疫で生産者だけでなく一家のお年寄りからこどもの大粒の涙がどれだけ流されたことでしょうか。21世紀になって10年、円高不況、就職難、戦略核を保有する中国、ロシア、北朝鮮に囲まれた防衛と外交、未曾有の国債、アジア諸国の国力の猛追、EPA、FTA、コメは800%の関税TPP、揺らぎ続ける中央政権、法人税率の引き下げ、医療制度の見直し、地域主権、マニフェクト・・・農業協同組合の金融、共済分離などこれまで想定されていたことが日本という国の器のなかで攪拌され、その器自体もダッチロールを続ける中で、必死になって行方を定めようとしているように映ります。

政権の交代とともに国営・県営土地改良事業を軸として進められてきた農業農村整備は予算の60%を削減されて、象徴的なものとして八場ダム、川辺川ダムの建設は中止、「小さく始めて大きく終わる」といわれてきたダム建設は建設途中で見直しをされ、農水省では今後ダムを造らない、200ヶ所あるダムを総点検して「大蘇ダム」と北海道富良野市の「東郷ダム」を最も問題をかかえたダムとして国の対処がそれぞれに検討されているところだ。

このような状況下、2009年から2010年にかけて農水副大臣が2度現地を訪れ、平成22年度から24年度まで3年間に約30,000㎡を（ダム全体法面の20分の1ほど）10cmコンクリート吹き付けをする、貯水して1年ごとに効果を計り、平成25年度からの対策工事の調査にあてることを受益者に伝えました。これまでの浸透状況から判断すると、この3年間にかんがい時期に使える大蘇用水は殆どないと土地改良区は考えております。毎年きびしい水不足のなかで農家の皆様に申し訳ないことと思えます。

11月15日に荻中央公民館で飯高悟九州農政局長はじめ雑賀幸哉整備部長、青山卓二大野川上流農業水利事業所長をむかえた受益者との意見交換会では、あらためて22年度から24年度の対策調査工事の説明があり、地元農業後継者の意見をつなぎ「(ダム周辺が)素晴らしい高冷地で高品質な野菜の産地と認識できた」「岩盤補修の効果と、今後の水の需要を調査し(建設から70年が過ぎた)大谷ダム、大蘇ダムの改修を含めた対策を検討したい」「農家がどれだけ水を切望しているのか分かった。できる限りのことはしたい」と飯高局長が応えています。

これで大蘇ダム浸透対策について、土地改良区が要請している大蘇ダム全面改修に向けて一歩進んだかということ、手をたたいて喜べる段階には至っていません。1979年に事業着手してから既に30年が過ぎ農業情勢は著しく変わり、農業農村整備のあり方も「新しい公共」の時代へとシフトを変えつつあります。「建設から保安全管理への転換」「保安全管理の主役を国、地方公共団体、土地改良区、集落へ転換」「全面的な改築、更新か

ら長寿化対策への転換」「工種別事業から自給率向上を目指す事業への転換」「徹底したコストの縮減」といった農業農村整備事業改革が農水省から示されています。

諫早湾干拓事業については、先日の福岡高等裁判所判決に対して政府は上告しない、開門により漁業への影響を確かめる、それに対して長崎県側から異議をとなえて訴訟が起こされる状況にあります。農林水産省の事業で一次産業の中で利害を対立させて反目しあう状況ですが、大野川農業水利事業の現場はどのようになっているのでしょうか。

大蘇ダムやパイプライン、揚水機場、ファームpond施設等は農水省が造りますが、2,158haの受益地に通水される農業用水の水利権は、荻柏原土地改良区が所有している大谷ダムから取水するかんがい期の第1幹線水利権と、大谷川頭首工第2幹線水利権とを調整して新たな国営受益地全域を潤す水利権を設定します。「水利権を持っている土地改良区が現状の大蘇ダムで

は水不足が解消されない」と叫んでいます。水不足は解消されないというのは嘘でも何でもありません。現在は18時間ごとの制限給水によって620haの水田に平均0.6t/sから0.8t/sの通水でかんがい期を過ぎしており、大谷ダムの貯水能力も大野川事業では150万トンになっておりますが、今では90万トンの貯水能力を下回っています。現状の大蘇ダムで畑かんがい用水はまかなえる、だからと言ってこのままで良いと言ってもらっては困る。受益地内での受益者間の対立を生じさせてもらっては困るし、その結果水利権交渉はまともらず畑地かんがい用水も使えないまま大きな対立の構図が出来上がっては困ります。

国民のコンセンサス、政府のマニフェクト、財政状況、農水省、県、市村、改良区、受益者農家それぞれの考え方、今の時代の農業情勢などで、大蘇ダムは完成までに高いハードルを越えなくてはなりません。しかしながら、ここ4年間の静かな要請活動を基にして今、受益者農家は時間の経過とともに確かな目的を掲げています。国内外の農業情勢が難しくなればなるほど「完全なダム機能を有する大蘇ダムが、高冷地の野菜栽培を中心としたこれからの戦略的な農業生産を創り出す」このことについて誰が否定できるでしょうか。とまとを中心とした高度な通年栽培技術は四半世紀をかけて生き残りを掛けて受益者農家が身につけ、それは確実に農業後継者に受け継がれています。畜産との複合経営も大分県下群を抜いた実績があり、この大野川上流地域は九州農業先進地の最右翼となっていくと言って過言ではありません。

新しい年の始めにあたり、組合員農家各位のご健勝をご祈念申し上げ、大過なく実り大きい年でありますことを願っています。



総代・理事・監事選挙があります。 総代定数が削減されました！

- ◎今回の総代選挙から定数が48名から32名に削減されます。選挙区別に1名減らして、現行が4名のところは3名に、2名のところは1名になります。現行の1名のところはそのまま1名です。
- ◎理事・監事が同時選挙になりますが、理事監事定数は現行どおりです。これまでどおりの地域の組合せで選出ができます。

現在の総代、理事、監事任期は平成23年3月31日までとなっています。総代選挙は任期満了の日前30日以内に竹田市選挙管理委員会によって執行されます。又、理事、監事は任期満了の10日前までに現任期中の総代により選出されます。総代、理事、監事に選出される者は、選挙人名簿を作成する前に組合員になっていなければ被選挙権と選挙権の権利行使ができません。そのため、経営譲渡や相続などにより組合員の変更が生じている場合は1月20日までに改良区備付け届け書面で手続きを済ませて下さい。日程など詳しいことは、公告により後日衆知致します。



荻小学校4年生が水利施設見学



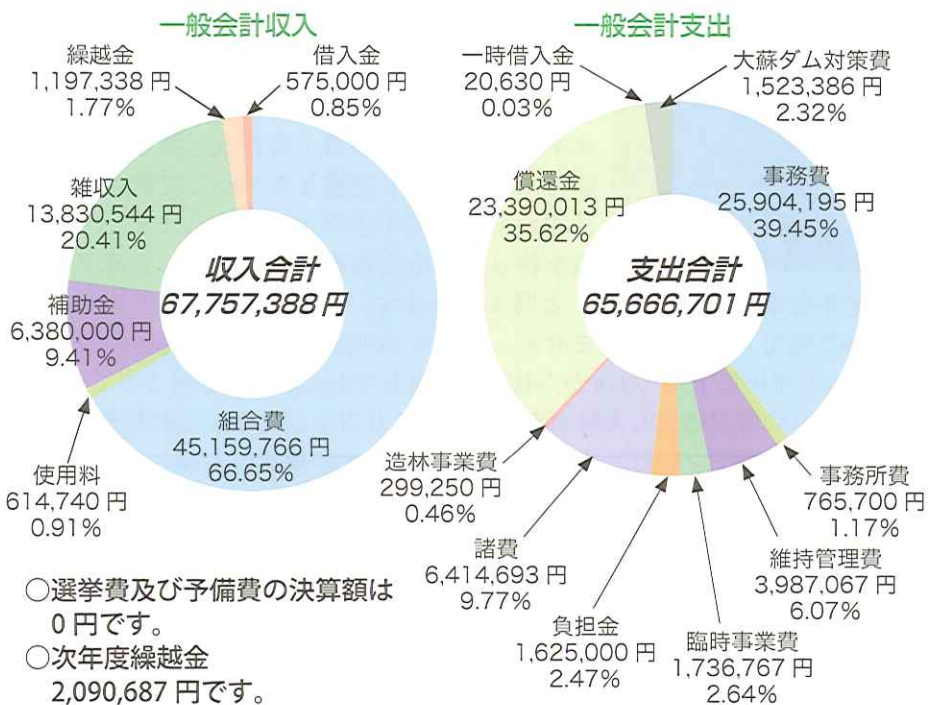
11月14日に郷土学習の一環として大谷ダムや大蘇ダム用水パイプライン敷設工事を見学しました。



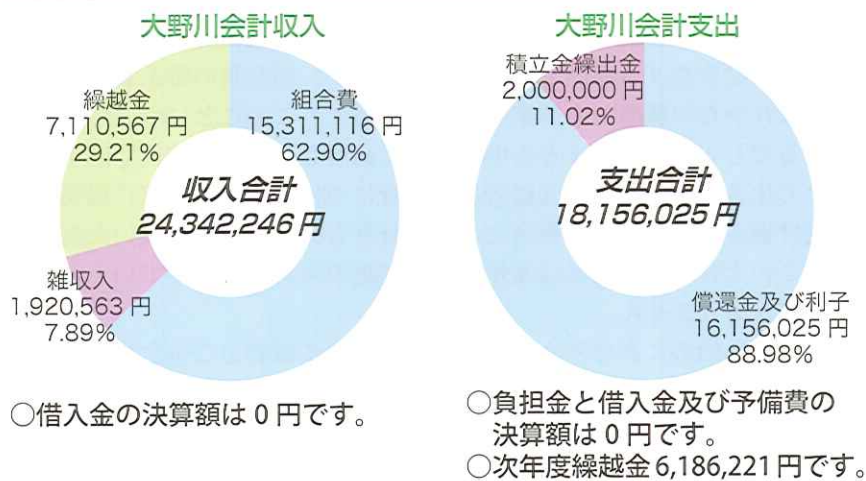
市内の方もダム見学

11月28日に土地改良区組合員の方と一緒に町の方も大蘇ダムと大谷ダムを見学。

平成21年度 一般会計収支決算の概要



平成21年度 大野川会計収支決算の概要



平成21年度 特別会計収支決算の概要

種目	前年度繰越金	収入	支出	差引残高(積立金)
基金積立金	15,741,286	2,326,452	6,000,000	12,067,738
退職給与積立金	5,939,963	2,014,849	0	7,954,812
決済金積立金	11,487,256	197,260	2,250,000	9,434,516
償還金支援対策事業	0	1,980,000	1,980,000	0

大谷ダム貯水量確保の為、表のとおり1月5日から荻地域と柏原地域とで交互に通水します。

	日	月	火	水	木	金	土
1月							1日 -
	2日 -	3日 -	4日 -	5日 荻	6日 荻	7日 柏原	8日 柏原
	9日 柏原	10日 荻	11日 荻	12日 柏原	13日 柏原	14日 荻	15日 荻
	16日 荻	17日 柏原	18日 柏原	19日 荻	20日 荻	21日 柏原	22日 柏原
	23日 柏原	24日 荻	25日 荻	26日 柏原	27日 柏原	28日 荻	29日 荻
	30日 荻	31日 柏原					
2月			1日 柏原	2日 荻	3日 荻	4日 柏原	5日 柏原
	6日 柏原	7日 荻	8日 荻	9日 柏原	10日 柏原	11日 荻	12日 荻
	13日 荻	14日 柏原	15日 柏原	16日 荻	17日 荻	18日 柏原	19日 柏原
	20日 柏原	21日 荻	22日 荻	23日 柏原	24日 柏原	25日 荻	26日 荻
	27日 荻	28日 柏原					
3月			1日 柏原	2日 荻	3日 荻	4日 柏原	5日 柏原
	6日 柏原	7日 荻	8日 荻	9日 柏原	10日 柏原	11日 荻	12日 荻
	13日 荻	14日 柏原	15日 柏原	16日 荻	17日 荻	18日 柏原	19日 柏原
	20日 柏原	21日 荻	22日 荻	23日 柏原	24日 柏原	25日 荻	26日 荻
	27日 荻	28日 柏原	29日 柏原	30日 荻	31日 荻		
4月						1日 柏原	2日 柏原
	3日 柏原	4日 荻	5日 荻	6日 柏原	7日 柏原	8日 荻	9日 荻
	10日 全通水	11日 全通水	12日 全通水	13日 全通水	14日 全通水	15日 全通水	16日 全通水

時代の価値観が意識の核を形成するとして例えば西側諸国の民主主義は歴史の過去にアフリカとアジア諸国とを植民地として第2次世界大戦後にそれらは独立し、かたちとして西側諸国がそれぞれを民主的に国家に仕上げたということになっている。非人道的な略奪や蹂躪は忘れ去られたように見える。価値観はときとしてみごとの本質を見失わせたりする。書き残しておこうと思う。大谷ダムの築造は1940年である。ダム工事には朝鮮半島から連れてこられた人たちがきびしい労働条件、というより、日本人現場監督に鞭でうたれ朝早くから暗くなるまで働かされていたというのだ。大谷ダム堤は切り出した礎石を積み上げているが彼らが前後ろに担いでモッコで集積し

ダム記雑感

たという。足がぐらついたり、行程どおり仕事が進まない、耳朶を摘み引き倒して谷の斜面から墜落したりした。アイゴー、アイゴウと手を合わせて泣き叫んだ姿を記憶している方々が、今でも大谷ダム近くの集落に住んでいる。彼らもまた重い口を開いて残り少ない時間に追われるようにして話して聞かせるのだ。そういえば、かんがい期の夜に大谷ダム取水塔に登ると、ヒュウヒュウと風の音に紛れて微かなざわめきとアイゴー、アイゴウと、或いは、非有、非有とも聞きとれる慟哭をきく。暗い闇の底で薄明かりに影が立ちのぼる。それは取水塔の内壁に映るわたしの影である。ここでも、また無明の音を聞く。(山村英治)